



為替格差における経済の構築

令和 7 年 4 月 24 日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

アメリカがドル高と高い消費者物価において、自国経済を有することへの考察を行いたい。これらは金融における資本の流入とともに、大きな利益性における先端産業の存在を彼らの経済において見つけられる。

これら彼らの豊かさにおける自国経済の基盤は、彼らの国家運営を与えるものである。豊かさが豊かさを生む構造は、次世代産業と知的集積産業という彼らの経済の基盤を見出せる。

これらは、グローバル経済においてその先端性における高い需要を有するものである。またそれら技術進歩における基準が経済それ自体の基準であることの正しい。

これらは技術と資本力におけるヒエラルキーの存在が存在するのである。これらはニューエコノミーという新たな現実が世界に存在すると判断できる。

これら高い物価水準と強い通貨、金融システムの構築、先端産業の構築などは、経済における強さなのである。

これらは資本力という基盤は、自国の実体経済を完全に転換させるものなのである。これらが金融経済という現実なのである。

これらが為替基準を固定し、実体経済という表に出る経済の現実における一つの虚像を世界が抱くのである。

これらは社会と生活物価という現実から、国家の豊かさを理解するとき、資本力という現実がグローバル経済の現実を形成していることを理解しなくてはならない。

これら給与水準と為替水準における豊かさへの理解は正しいのである。それらの基準において実体経済がその生産性を有するからである。

しかし実体経済そのものにおいてそれら現実を判断するとき、それらは製品力と生産性における個別企業への評価が与えられる。



これらは国家の豊かさという判断は資本力において与えられるものであり、国民総生産の価値は、これら為替水準とともに、実体経済の生産性において富の創出を得るものである。

これらは実体経済と金融経済の双方において、自国の経済政策を要求されることを意味するものである。

またグローバル経済における資本の流れは、はるかに想像に勝る影響を各国の経済へ与えるものである。

これら経済政策における要求は、外交と内政、通貨政策と金融政策、経済政策において、その正しい経済運営の実現が与えられるものであることはこれにおいて理解できるものである。

また資本が先端産業へ流入することは、その株式水準を完全に相違させるものであり、今日の先端産業への需要が存在することがそれらを支えるものである。

これは資本と一体経済が一体として経済を形成するものであり、そのバランスが崩壊するとき、経済の崩壊が存在することは理解しなくてはならない。

これらは金融の流れに注視し、経済への理解を求めることは完全に正しい。また実体経済の変化と進歩に対して、金融という動きを理解することも正しい経済への理解を与えるものである。